

# とけるかな?

中学入試過去問に挑戦

でてこい 未来のリーダーたち。

協力：四谷大塚

海城中学校

(2013年度、改題)

## ワールドカップ W杯、五輪…

## ブラジルに注目

今週は、来年のサッカーワールドカップや2016年のオリンピックの開催国として話題のブラジルがテーマです。

社会

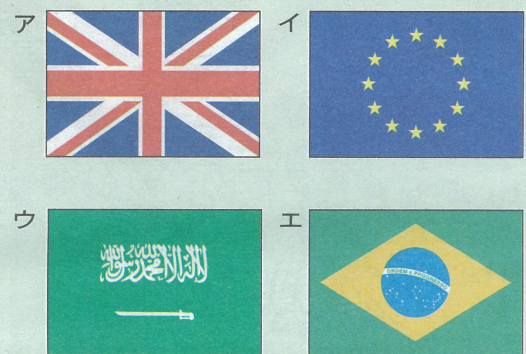
### 問題

ブラジルのアマゾン川下流にトメアスという町があります。この町の畑では、パパイヤなどの果物のほか、天然ゴムなどの工芸作物、さらにはマホガニーなどの高級木材となる樹木までが、同じ畑の中で分けられずに栽培されています。こうした農業を「アグロフォレストリー」とよび、近年、世界各地で注目されるようになってい

ます。トメアスでは、1929年に日本人移民による開拓が始まりました。いろいろな植物が共存するアマゾンのようにすをヒントに、トメアスに住む①日系人が開発したアグロフォレストリーの知識・技術は、アマゾ

ンの農民の生活を豊かで安定したものにす

るとして注目されています。  
問1 ブラジルの国旗を次のア～エから選び、記号で答えなさい。



問2 ブラジルでおもに話されている言語(公用語)を答えなさい。

問3 トメアスの位置を〈地図〉の中のア～エから選び、記号で答えなさい。

問4 下線部①の日系人の中

には、日本に出稼ぎにきている人も多くいます。日系ブラジル人は特に愛知県・静岡県・三重県・群馬県などに多く住んでいます。その理由の一つは、ある工業がさかんなこと

です。正しいものを次のア～エから一つ選びなさい。  
ア 自動車工業    イ 鉄鋼業  
ウ セメント工業    エ 製紙・パルプ工業



※みんなが問題に挑戦できるようにがんばっています。

### 環境問題にも注意

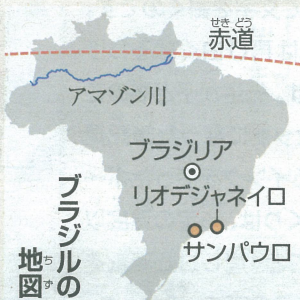
オリンピックなど大きなスポーツイベントの開催国については、入試でよく出題されるテーマの一つです。今年9月には、東京で2020年の夏季オリンピック・パラリンピックが開かれることが決まりました。関連して、2016年の開催都市・リオデジャネイロが位置するブラジルについて問われる可能性があります。

また、ブラジルには世界最大の流域面積を持つアマゾン川やその流域の熱帯林など豊かな自然があります。入試では世界の環境問題が出題されることも多いです。

### 解説

ブラジルは人口、面積ともに南アメリカ最大の国で、人口はおよそ2億人、首都はブラジリアです。主な都市に経済の中心地のサンパウロや、リオデジャネイロなどがあります。ポルトガルの植民地だったことから、公用語はポルトガル語です。サッカー大国として有名で、来年6月にはサッカーのワールドカップが開幕します。2016年には、南アメリカでは初めての夏季オリンピック・パラリンピックがリオデジャネイロ

で開催されます。自然では、アマゾン川が重要です。赤道付近を流れ、流域面積は世界最大の約700万平方キロメートル。流域の熱帯林は、大規模な鉱山開発や森林伐採などが原因で急速に減少し、世界的な環境問題となっています。1992年に「国連環境開発会議(地球サミット)」が、2012年には「国連持続可能な開発会議(リオプラス20)」がリオデジャネイロで開催されました。産業では、コーヒーの栽培が有名です。世界中のコーヒーのおよそ3分の1がブラジル産です。サトウキビなどから



車の燃料を作る取り組みも進んでいます。

日本が輸入している鶏肉の約9割、鉄鉱石の約3割をブラジルが占め、大豆もアメリカに次ぐ輸入先となっています。

ブラジルには、日本から移住した人々や、その子孫らの日系人およそ150万人が住んでいると推定されています。また、日本に移り住む日系ブラジル人も多く、東海地方や群馬県を中心に、自動車工場で働く人がたくさんいます。

### 解答

- 問1 エ
- 問2 ポルトガル語
- 問3 イ
- 問4 ア